



# FRI Business Incubation News

2006年5月30日

## 「自治体経営を変革する行政評価支援コンサル」

### 行政評価とはどんな仕事か

市町村合併が一段落し、次は自治体行政の内容に目が向いています。財政が一段と厳しくなる中で、地域の行政にもスリム化が求められています。そうした一方では、住民への公共サービスに対しては量的にも質的にも要望が多くなっています。その中で、最適な資源配分、効果的な施策などの筋道を示し、行政経営の改革を実現するのが行政評価です。

### 行政評価の状況は

1996年に三重県の北川知事(当時)が初めて行いました。今ではほとんどの都道府県、政令指定都市で行われており、一般市でも70%が実施中です。それではその結果として行政経営改革が着々と進んでいるかという点、必ずしも十分に目的を達成したとは言いきれません。FRIの調査では、期待通りの成果を生み出している実施団体は17%に留まっています。今後も継続的な改革が必要で、当面エネルギーの注がれていく分野と考えられています。

### コンサルは行政評価をどのように支援するか

- ・まずは行政評価の導入を支援します。企画・行革部門に対して評価の実施方法、ツールの使い方、制度設計などのサポートです。
- ・次に、職員向けの教育・研修です。行政能力強化を支援します。
- ・最近出始めてきたのが評価そのものの支援です。本来は内部の仕事ですが、中立性、公平性を見地からコンサルタントに委託する例が出てきています。

問い合わせ先 富士通総研 公共コンサルティング事業部  
Tel:03-5401-8396 担当:佐々木、東、瀧口

## 解説

### 行政評価の難しさ

どんな改革にも痛みが伴います。行政サービスは多種多様であり、関係者の利害が一致しにくい場合が多々あります。新しいサービスを立ち上げる場合はともかくとして、廃止したり、やり方を変えることについては困難な調整が付きものです。それぞれのサービスの裏には理論的根拠があり、実施している人たちがいます。本来調整機能は政治が担うはずですが、現実を見ると議会、市民団体、首長あるいは現場の職員などがそれぞれ異なる主張を持っています。そして背後にはステークホルダーである住民がいます。それぞれの立場を勘案しながら評価を行い改革を実施するのは大変な仕事です。

### FRIが貢献できること

FRIはこの分野に遅れて参入しました。しかし、現在では高く評価されています。これまでのさまざまな仕事を通して、行政全般及び現場の実態に関して広い知識を蓄積してきました。その結果、縦割りの自治体の中で組織を超えた評価・改革をしたり、これまで効果の上がらなかった団体を立て直すことができました。これが評価されている理由です。また、この分野のコンサルは、自治体経営ソリューションなどのITビジネスにつながっていきます。そして、近い将来には経営資源の統合管理などに拡大していくと考えられます。